

ビィラ通信

第40号



平成29年3月発行

発行者: 社会医療法人 寿楽会 介護老人保健施設 箕面グリーンビィラ

住所: 箕面市粟生間谷東1-33-25 TEL: 072-727-3475



デイケア 手作り巨大壁画カレンダー



希望(のぞみ)さまによる和太鼓演奏

春の足音が聞こえてまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年の冬は雪を目にする日が例年になく多く、スタッフも通勤手段に悩まされました。「車で行こうか、バスにしようか・・・」ビィラに着くと一安心。寒さからの解放はありがたいものです。

ご利用の皆さまも春の日差しが待ち遠しかったのではないのでしょうか。季節の変わり目、窓から見える箕面の山々の景色も違って見えます。

ご通所の皆さまもビィラに来られることで、季節を感じ、リハビリで足腰を整えてくださいますように願っております。少しずつ身体を伸ばしていきましょう。4月より新年度を迎えます。気持ち新たに頑張りましょう！！

家族介護教室委員会より

去る3月10日(金)、製薬会社から講師の方をお招きし、ご家族・ご利用者様を対象に、「効果的な脱水対策と介護食の試食会」を開催させていただきました。脱水や熱中症にならない為の水分・塩分補給の重要性や、経口補水液・摂取回復支援食(柔らかく、栄養素・風味・色調はそのまま保たれている)の試飲・試食も行いました。感想としては、「歯茎や舌でも噛みやすく、見た目も良い」とのご意見が多く出ました。今後も皆様の生活に少しでも役立てていただけるような勉強会を開催できたらと考えております。ご参加いただきましてありがとうございました。



摂取回復支援食

1階浴室に新しい浴槽が導入されました

今回、1階浴室に新しい浴槽を導入いたしました。1階でも歩行に不安がある方も入浴できるようになりました。浴槽をまたいで入っていただくこともできますので、お身体の状態に合った入浴方法を選択していただくことができます。実際に入浴していただいたご利用者様からも「気持ちがいいです」とお声をいただき、待ち時間が大幅に短縮されました。



リハビリだより

1月よりデイケアご利用の皆様にリハレクを実施しています。リハレクとは、理学療法士・作業療法士の資格を持ったリハビリスタッフが、ご利用者様の身体機能を最大限に引き出しながら、実施しているレクリエーションです。1月、2月はフリースロー大会を開催しました。当日はほとんどのご利用者様が参加してくださり、真剣な表情でボールを投げておられ大盛り上がりでした。これからも屋外でウォーキングや屋内でゲーム形式を取り入れ、楽しみながらリハビリができる企画を検討していきますのでご期待下さい！！



お誕生日会

2月のお誕生日会はコーラスグループ、コールハピネスさんによる合唱がありました。美しい歌声のハーモニーに皆様うっとりされていました。3月には希望(のぞみ)さんによる和太鼓演奏会があり、迫力のある演奏を間近で観る事ができました。お腹に響いてくる大きな和太鼓の音に最初はびっくりされていた皆様も最後は手拍子で盛り上がりおられました。



ハイ厨房です！

ちょっぴり風の冷たい日と暖かい日差しの日、くり返しくり返し少しずつ春はやってきます。植物が一齐に芽吹く春。野菜も若々しくて柔らかく香りの高いものが出回る季節です。筍、蕨、ふきのとう、タラの芽、アスパラガス…この時季ならではの甘味、苦み、香りをぜひ味わってみてください。

厨房では毎月行事食を実施しておりますが、2月は26日、27日に“おやつバイキング”を行いました。新作の手作り豆腐ドーナツに抹茶パフェ、白桃ムースにゆずまんじゅうなど、和菓子洋菓子を色々をご用意し、皆様にお好きなものを選んで召し上がっていただきました。普段はなかなかお会いする機会も少ないですが、このときばかりは厨房スタッフもご参加の皆様ととても楽しいひと時を過ごすことができました。また、貴重なご意見をうかがう機会ともなり感謝しております。皆様、どうもありがとうございました！



ボランティアさん大募集！



午前でも午後でも、少しのお時間でも…

お話し相手・配膳・ドライヤーかけ・車椅子清掃・喫茶など手軽に始められるものから…

書道・生け花・詩吟・草・簪細工など専門性を活かしたものを職員と一緒に…

日常の営み・趣味の活動を共に行うことで交流が深まり、心のケアにもつながります。又、ボランティアさん自身の心の豊かさを育み、しいては、より良い社会作りの第一歩となります。お待ちしております！

[編集後記]

毎年この時期になると、この一年を振り返り、来年度の目標を立てようという思いが強まります。今年は新聞委員として活動した4月から、いろいろな事があり、今までにない経験ができました。一年を通して、行事などの催し物で、ご入所の皆様が笑顔で過ごされているのを見るとこちらまで笑顔になりました。改めて、日常を少しでも楽しく笑顔で過ごしてもらおう大切さを学ぶことができました。

～ご愛読ありがとうございました～

新聞委員：米田・米村・神谷・小林